

式辞

春季休業中、寒い日、雨の日、風の強い日が何日かありました。そのお陰でしょうか、このおめでたき日、桜がまだほぼ満開の状態でご新入生の皆さんを祝福しているようです。この佳き日に、同窓会長 福田謙一郎（ふくだ けんいちろう）様、PTA会長 小林淳（こばやし あつし）様を始め、多くの来賓と保護者の皆様方のご臨席を賜り、令和四年度群馬県立高崎東高等学校 第三十九回「入学式」を挙行できますことは、私ども教職員一同の大きな喜びであり、心より熱く御礼を申し上げます。

ただいま、入学を許可した200名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。高崎東高校への入学を、心から歓迎いたします。また、これまでずっと我が子を愛情を持って支えてこられた保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。これから新入生全員が意義深い高校生活を送り、本校を選び、ここで学んだことを生涯にわたって誇りに思えるよう、職員一同、精一杯指導に当たって参る所存でございます。

新入生の皆さん、皆さんが入学試験を突破し、晴れてその一員となった本校は、今年で創立三十九年を迎える高校です。伝統校と呼ばれる高校に対してはまだ歴史が浅いところがありますが、「誠実、賢智、健康」を教育目標に掲げ、地方の中核都市である高崎市のみならず、群馬県においても、これまで多くの有意な人材を育成してきた自負がある高校です。新入生の皆さんが「誠実」真心をもって人に接し、「賢智」賢く知恵を磨き持ち、「健康」心身ともに健やかな人間として成長できますよう、教職員全員で応援します。是非、新入生の皆さんはこの教育目標を胸に刻み、本校での生活の基盤にさせていただきたいと思っております。

さて、これからの高校生活に期待がありながら、少しの不安を持っていると思われる皆さんに、高崎東高校の校長として、皆さんに期待するところを述べたいと思っております。

それは、新型コロナウイルス感染症がなかなか治まらない時代ならではの生き方を積極的に経験し、それを皆さんの強みにして欲しいということです。本校での三年間を、コロナによる苦しいだけの三年間ではなく、チャンスに変える三年間にしてもらいたいのです。もしかしたら後の時代の人から、「令和のコロナ時代」、などと呼ばれるかもしれません。しかし、「さすがコロナ世代」と言われる存在になって欲しい、その基礎をこの三年間で身につけて欲しいのです。皆さんは、マスクを着けるのが義務とされ、各施設の入出の際にはアルコール消毒をするのに疑問を持たない、更には修学旅行は方面や日程の変更や中止が、仕方ないよね、という風潮の中で片付けられていく、そんな中学校生活を送ってきたと思います。残念ながら皆さんが高校生になった今でも、マスク着用や消毒、更には昼食時の黙食など、コロナ対策を施した生活が当たり前であり、まだ数年はウィズ・コロナの生活をしていかなければならないでしょう。これらはコロナウイルス時代のマイナスの面です。しかし数年前ならば不可能と思われたことを、当たり前のようにできるようになったプラスの面もあるのです。一部の企業では、家で仕事ができるようになりました。これによって通勤にともなうエネルギーの消費が抑えられて環境に良い影響が出ると言われています。さらに在宅勤務に合わせた商品やアプリケーションの開発など、新たなビジネスチャンスも生まれています。ソーシャルディスタンスが推奨される中、東京一極集中に異を唱える声が更に大きくなり、高崎市のような地方都市が見直されつつあります。在宅勤務が可能な職業とは正反対のエッセンシャルワーカーと呼ばれる、具体的には医師や看護師、運送業や対面販売に携わる方々の仕事の重要性が見直され、新たな職業観が形成されようとしています。

学校現場においても数年はかかると言われていたギガ・スクール構想が一気に進み、一人一台端末が実現しました。中学時代から端末に触れているのコロナ世代の皆さんは、皆さん以前の世代にはない強みを、すでに持っているのです。端末の使い方だけではなく、毎日行い習慣となっている検温は、健康管理、セルフコントロールができる人物として評価されます。計画の延期や変更を多く経験している皆さんは、トラブルに対して冷静に対応したり、急な変化にも順応できる能力を他の世代より備えています。皆さんはコ

コロナ禍によって同情される世代ではなく、困難な時代を経験したからこそ評価される世代なのです。ただし将来、「大変な時代で損をした」と否定的な振り返りではなく、「大変だったけど、強くなれた」と肯定的に振り返るかは皆さん次第です。「大変さ」と「楽しさ」は表裏一体のものです。「大変」な事を経験しそれを克服した時の充実感は、生涯にわたって皆さんの財産になります。高崎東高校の三年間を充実した期間となるよう、様々な苦勞を味わい、大変な思いをしてみてください。そしてそれらの経験をする中で、皆さんは支えてくれる家族、共感してくれる仲間など、自分の周りには沢山の宝物があることを実感するでしょう。

結びになりますが、保護者の皆様、本校は日々の学習指導や部活動等の指導は勿論のこと、交通事故や災害から身を守る安全教育、そして、生徒たちが日々安心して勉学に励むことができるよう、いじめのない学校づくりに全校で取り組んでいきます。生徒が経験する苦勞に、時には相談相手となり、時には人生の先輩としてアドバイスをするなど、これからも保護者の皆様の見守りが、生徒にとって大きな励みや安心感となり、苦勞に立ち向かう勇気となります。新入生皆さんの限りない可能性を祝し、式辞といたします。

令和四年四月八日

群馬県立高崎東高等学校

校長 関口 俊邦